

ヤングケアラーサポート学校賞 (Young Carers in Schools: Award Pack)

ヤングケアラーを支援し、ヤングケアラーサポート学校賞に申請するためのガイド

はじめに

ここには、ヤングケアラーサポート学校賞の申請に必要なすべての情報とツールがまとめられています。このガイドとチェックリストは、学校やヤングケアラーサービス、ヤングケアラー当事者達と話し合っ
て作成され、その後改訂されて凝縮されました。支援を進めるための段階的ガイドや、提出必須の書類
(エビデンス)の全体チェックリストも一つにまとめられ、使いやすいパックで、ダウンロードも可能です。

ヤングケアラーサポート学校賞 (Young Carers in Schools Award)

この賞では、学校に対して、ヤングケアラー当事者達が定めた5つの基準に準拠することを求めています。

1 理解する (Understand)

ヤングケアラーのニーズを理解し、それに取り組む責任を割り当てられた教職員がいる。

2 情報を提供する (Inform)

障害や病気やヤングケアラーについての知識を全校で共有することで、意識が高められている。

3 発見する (Identify)

ヤングケアラーが学校の中で発見されている。

4 聴く (Listen)

ヤングケアラーの話を聴き、相談に乗り、彼らが話をするための時間と場所がある。

5 支援する (Support)

ヤングケアラーを学校の中で支援し、学校の外の家族支援サービスに繋ぐ。

申請できる賞には、銅賞、銀賞、金賞の3つのレベルがあります。ヤングケアラーを支援し、ヤングケア
ラーの出席状況や学業や心身の健康への悪影響を軽減するため、全校で取り組むにあたっては、銅賞、銀
賞、金賞の順で進めて下さい。

銅賞レベル：ヤングケアラー支援の仕組みを、学校内で比較的単独で作っている。

銀賞レベル：ヤングケアラーが学校内外で適切な支援を受けられるように、多機関連携している。

金賞レベル：家族丸ごと支援 (Whole Family Approach) を組み込み、ヤングケアラーによる不適切なケ
アを減らし、子ども・若者の学びと遊びが保証されるよう、ヤングケアラーとその家族が必要な支援を受

けている。

賞の申請には、5つの各基準について、貴校の希望達成レベル（銅、銀あるいは金）に向けた取り組みを示す書類を提出してください。

ステップ1 「基本事項の振り返り」をダウンロードしてすべて記入する

「基本事項の振り返り」を記入することで、貴校の取り組みの現状を簡単に振り返ることができます。また、取り組みを継続するための行動計画を作ったり、支援の進捗を記録したりする手段にもなります。

「基本事項の振り返り」によって、貴校のヤングケアラー支援の現状把握ができます。

緑（Green） 支援の仕組みがある

黄（Amber） 支援の仕組みがあるが、部分的で、追加作業が必要

赤（Red） 支援の仕組みがない

（色分け審査）

記入済みの「基本事項の振り返り」を YCiS@childrenssociety.org.uk に送って頂くと、貴校は「準備中」扱いとなり、私たちは貴校が申請準備中であることを把握できます。さらに、「基本事項の振り返り」のデータ収集により、私たちはこのプログラムの効果を査定することができます。

ステップ2 貴校のヤングケアラー支援で使えるツールを活用する

「基本事項の振り返り」で赤や黄になったところは、追加の活動が必要です。youngcarersinschools.com をクリックすれば、以下の様々な手段にアクセスすることができます。

・教職員向けの段階的ガイド

このツールにおいては、各学校がステップ1から10まで全てを網羅するのではなく、適宜利用できるようにデザインされています。「基本事項の振り返り」では、各分野をさらに強化するために使うことのできる適切なセクションが強調されています。また、各学校が利用できるツールとテンプレートの見本も含まれています。

・支援活動や賞の基準を解説している様々なウェビナー

・電子ニュースレターに申し込むと、今後開催されるイベント、専門職研修の機会及び新規資料やツールを見つけることができます。

地域のヤングケアラーサービスが、地域活動やその発展のために学校を支援するのもよいでしょう。貴校が所在する地域のサービスについては、youngcarer.com/services をご参照ください。

賞の申請にあたり裏付けとなる書類を揃える際に、地域サービスや優良事例の利用及び校内での活動記録を使うと良いでしょう。これらの手段は、まだ支援の仕組みが整っていない学校をサポートするようデザインされています。学校内ですでに何らかの優れた活動が行われていたり、何らかの手順が確立していたりする場合には、それを止めることなく継続しながら、これらの手段を必要に応じて活用してください。

ステップ3 書類を集めるためにチェックリストを活用する

チェックリストでは、ヤングケアラーサポート学校賞を受けるために提出必須の書類と、あると望ましい書類を詳しく説明しており、これにより書類収集の進捗確認ができます。リストでは、「段階的ガイド」の参照項目も記載しています。

・申請の際には、5つの各基準について、貴校の希望達成レベルに向けた取り組みを示す書類を提出してください。（銀賞に申請するには、銅賞及び銀賞レベルを満たしていることを示す書類を提出しなければなりません。）

収集した書類の「種類」によっては、受賞の可否を左右しかねないよくある間違いがあります。「ヤングケアラーサポート学校賞：申請のための書類収集の指針」(youngcarer.com/ycinschools)に目を通されることをお勧めします。この指針では、書類提出のヒントが記載され、申請の好例を使って提出必須の書類が分析されています。

次頁からは、申請基準の詳細と提出必須の書類及び「段階的ガイド」の参照項目を紹介しています。youngcarer.com/ycinschools から、申請時に提出するチェックリスト(編集可)をダウンロードしてください。

<銅賞レベル>

ヤングケアラーを見つけ支援するための仕組みを学校内に作る

基準	提出書類	☑	段階的ガイドの参照項目
<p>基準1：理解する</p> <p>ヤングケアラー支援の学校首脳部の責任者と実務チームがいて、ヤングケアラー、保護者及び教職員に対して、それが誰なのかが明確になっている。</p>	<p>○必須書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その教職員の名前と肩書。 ・その教職員が誰か、生徒、保護者及びその他の教職員に明確になっていることを示す書類。 <p>○あると望ましい書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その教職員の、ヤングケアラーに関連する職務の説明。 ・その教職員が、ヤングケアラー支援の取り組みの現状を振り返ったことを示す書類（ステップ2のツール1）。 	<p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップ3 学校首脳部が確実に深く関わる ・ステップ3 ツール1：学校首脳部のヤングケアラー支援の職務チェックリスト ・ステップ4 学校にヤングケアラー支援の実務チームを置く ・ステップ4 ツール1：ヤングケアラー支援の実務チームの職務チェックリスト
<p>基準2：情報を提供する</p> <p>障害やヤングケアラーの課題に関する情報を、全校生徒、教職員及び学校運営関係者が見られるようになっている。</p>	<p>○必須書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校で取り組むという宣言を含んだ、生徒向けの掲示板の写真とホームページのコピー。 ・学校の首脳部が承認した、職員室の掲示板の写真（ヤングケアラー支援の学校首脳部責任者の名前と連絡先が明確に掲載されていること）。 ・ヤングケアラーに関する啓発のために学校運営関係者に送られた手紙のコピーと、ヤングケアラーについて話し合われた会議の議題や議事録のコピー。 <p>○あると望ましい書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤングケアラーを見つけて支援し、児童保護の要件を反映した、全校の取り組みであるという宣言。さらに、それが教職員、生徒及び保護者が参加できる形になっていることを示す書類。 	<p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップ3 ツール2：ヤングケアラーについて学校運営関係者に案内する手紙の見本 ・ステップ5 ツール1：全校で取り組む時に含めるべき推奨事項 ・ステップ7 ツール2：教職員用の掲示板資料の見本 ・ステップ8 ツール1：小学校向けの掲示板資料の見本 ・ステップ8 ツール2：中学校向けの掲示板資料の見本

基準	提出書類	☑	段階的ガイドの参照項目
<p>基準3： 見つける</p> <p>ヤングケアラーを見つけて支援に繋ぐ方法に関して、教職員が一元的に情報を入手できるようになっている。</p>	<p>○必須書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤングケアラーを見つけて支援に繋ぐ方法の情報を含む、教職員向けの掲示板の写真。 ・学校のイントラネットや共有ドライブで、ヤングケアラーがケア役割から受ける影響、ヤングケアラーを見つけて支援に繋ぐ方法に関する情報やツールが存在することを示す書類（例：ドライブの中身がわかるスクリーンショットなど）。 <p>○あると望ましい書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共有ドライブ上にある情報やツールの存在を周知していることを示す書類（例：教職員向けの掲示板で共有ドライブの場所を周知するなど）。 	<p><input checked="" type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>・ステップ7 ツール2：教職員用の掲示板資料の見本</p> <p>・ステップ6 ツール1：ヤングケアラーが必要とするかもしれない支援のチェックリスト</p> <p>・ステップ7 ツール1：ヤングケアラーの疑いがある生徒用のチェックリスト</p>
<p>基準4： 聴く</p> <p>ヤングケアラーミーティングや相談、アンケートなどを通して、学校でヤングケアラーの話を聴いている。</p>	<p>○必須書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤングケアラーが参加できる時間帯に開かれるヤングケアラーミーティングの予定表が周知されていることを示す書類。 ・ヤングケアラーが支援スタッフとやり取りできる仕組み（Eメールアドレスや意見箱など）があることを示す書類。 <p>○あると望ましい書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校でアンケート調査が実施されたことを示す書類。 ・学校の方針と支援の現状に関するヤングケアラーからの意見収集について、学校に在籍するヤングケアラーからのフィードバックを示す書類。 	<p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>・ステップ6 ツール1：ヤングケアラーが必要とするかもしれない支援のチェックリスト</p> <p>・ステップ6 ツール4：ヤングケアラーフォーラムの開催方法</p> <p>・ステップ9 ツール4：心身の健康に関するアンケート</p>

<銀賞レベル>

ヤングケアラーが学校の内外で確実に適切な支援を受けられるようにするために、複数の機関と連携して支援する。

基準	提出書類	☑	段階的ガイドの参照項目
<p>基準1：理解する</p> <p>ヤングケアラー支援責任者がヤングケアラーのニーズに応えるために、教職員からなる実務チームを置いている(保健室の先生や地域のヤングケアラーサービスとの連携を含む)。</p>	<p>○必須書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤングケアラー支援責任者が健康面のサポート（保健室の先生）や地域のヤングケアラーサービスとの連携を構築していることを示す書類。 ・構築した連携の職務役割と詳細。 <p>○あると望ましい書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤングケアラー支援責任者が、他の適切な連絡先と連携し、情報共有の手順が確立されていることを示す書類。 ・ヤングケアラー支援実務チームによる、連携先との定期的な集まりや、やり取りを示す書類。 	<p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップ6 ツール5：ヤングケアラーとその家族を支援するための、保健室の先生との連携 ・ステップ6 ツール6：ヤングケアラーサービスとの連携
<p>ヤングケアラーの成績と出席状況を、学内管理システム上でモニターし、把握している。</p>	<p>○必須書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤングケアラーの出席状況と成績を確認していることを示す、印刷物や報告書。(匿名にして印刷すること。) <p>○あると望ましい書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学内管理システム上で、見つけたヤングケアラーに印をつけていることを示す書類(例えば、学校情報管理システムで「ユーザー定義グループ」として印をつけるなど。) 	<p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップ2 ツール4とツール5：ヤングケアラーの出席状況、成績、経過に関するデータ収集のためのチェックリスト

基準	提出書類	☑	段階的ガイドの参照項目
<p>基準3： 見つける 教員とすべての学校職員は、潜在化するヤングケアラーを含め、ヤングケアラーを認識するよう研修を受けている。教員とすべての学校職員は、ヤングケアラーに影響を及ぼす課題について特別研修を受け、ヤングケアラーが語ることができ、ヤングケアラーに更なる情報を提供できる。</p>	<p>○必須書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤングケアラーに関する啓発・発見・支援につなげること、偏見を伴う病気及び支援の提供が研修に含まれていることを示す書類（研修の概要や学習目標を含むこと）。 ・現在も学びが継続していることを示す、教職員向けに実施されたあるいは実施予定の研修の日程 ・研修から得られた評価やフィードバックを示す書類。 <p>○あると望ましい書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新任職員が就任する際にヤングケアラーに関する啓発が行われていることを示す書類 ・使用している外部機関のツール ・特別研修でヤングケアラーのニーズに関する理解を促進していることを示す事例 ・ヤングケアラーを見つけ支援することについての教職員の意識を示す教職員調査 	<p><input type="checkbox"/></p>	<p>・ステップ7 ツール4：教職員研修ファシリテーター用のガイド</p> <p>・ステップ7 ツール5：教職員研修で使用するためのパワーポイント資料</p> <p>・ステップ7 ツール6：教職員研修で使用するための配布資料</p> <p>・ステップ7 ツール7：教職員研修用の評価表</p> <p>・ステップ2 ツール6：ヤングケアラーのニーズを満たす上での学校教職員の理解と自信のレベルの調査</p>
<p>生徒が転入・入学する際に、障害やケアの課題を考慮に入れ、学校はヤングケアラーとその家族に早期の介入と支援を提供している。</p>	<p>○必須書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転入・入学手続きの際に、家族の障害や病気やヤングケアラーに関する質問が含まれていることを示す書類 ・生徒の転入と転出(入学と卒業)の手続きに、生徒がヤングケアラーである場合、その情報共有を含んでいることを示す書類 	<p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>・ステップ5： 学校の主要文書においてヤングケアラーについて記載する</p> <p>・ステップ6 ツール1：ヤングケアラーが必要とするかもしれない支援のチェックリスト</p> <p>・ステップ8 ツール5：親または保護者への手紙の見本</p> <p>・ステップ8 ツール6：ニュースレターの記事の見本</p>

基準	提出書類	☑	段階的ガイドの参照項目
<p>基準4： 聴く</p> <p>学校は、全校での取り組みや、方針と実践を変更する際に、ヤングケアラーの意見を反映している。</p>	<p>○必須書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動変更の連絡をしたり、方針の策定をしたり、あるいは既存の方針がヤングケアラーにとって明確かつ適切であるために、学校がヤングケアラーの意見を収集し、反映してきたことを示す書類。例えば、生徒による携帯電話使用の方針、障害とヤングケアラーに関連するいじめ防止対策、ヤングケアラーが提出する転入・転出（入学・卒業）手続きなど。 ・転入・転出（入学・卒業）手続きを含む、方針と活動の定期的な見直しと更新を行っていることを示す書類 	<p>☐</p> <p>☐</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップ2 ツール3：あなたの学校のヤングケアラー支援に対するヤングケアラーの意見の収集方法 ・ステップ5： 学校の主要文書においてヤングケアラーについて記載する ・ステップ5 ツール3：ヤングケアラーについて言及すべき他の主要文書のチェックリスト
<p>基準5： 支援する</p> <p>学校内外でのヤングケアラー支援サービスや医療支援の詳細を含めて、ヤングケアラーを支援につなげることに特化した情報が生徒に届くようになっている。</p>	<p>○必須書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤングケアラーを学校内外の支援につなげることを目的とした情報が、ウェブサイトや校内ネットワーク及び掲示板を介して、生徒に届くようになっている。それらの情報には、地域のヤングケアラー支援サービス、心身の健康サポート（保健室の先生やカウンセラーなど）、ヤングケアラーとその家族のためのその他の適切な支援の詳細が含まれる。 <p>○あると望ましい書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校は、保健室の先生のためのチャート（保健省）を認識し、そのチャートの概略にあるように、調整及び連絡し、支援へとつなげる際に、保健室の先生が果たす役割について理解している。 	<p>☐</p> <p>☐</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップ6 ツール1：ヤングケアラーが必要とするかもしれない支援のチェックリスト ・ステップ6 ツール5：ヤングケアラーとその家族を支援するための、保健室の先生との連携 ・ステップ6 ツール6：ヤングケアラーサービスとの連携 ・ステップ7 ツール3：教職員がヤングケアラーを支援する方法

基準	提出書類	☑	段階的ガイドの参照項目
<p>学校での取り組みを発展させるために、地域や国の外部支援にアクセスしている。</p>	<p>○必須書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り組みを効果的に発展させるために、ヤングケアラーサービスや心身の健康サポートを含めた、地域他機関との連携の利用方法を示す書類 <p>○あると望ましい書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校でのヤングケアラー」プログラムの地域ネットワークや専門職向けの研修イベントに参加したことを示す書類 ・教職員向けに「学校でのヤングケアラー段階的ガイド」を活用している 	<p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>・ステップ6 ヤングケアラーを見つけ、アセスメントを行い、支援するための仕組みを作る。：重要な情報</p> <p>・ステップ6 ツール7：学校とヤングケアラーサービスが効果的に連携するためのチェックリスト</p>

<金賞レベル>

家族丸ごと支援を取り入れ、ヤングケアラーによる不適切なケア役割を軽減するために、ヤングケアラーとその家族が必要な支援を受け、子ども・若者の学びと遊びが十分に保証されている。

基準	提出書類	☑	段階的ガイドの参照項目
<p>基準1：理解する</p> <p>ヤングケアラー支援実務チームが、ヤングケアラーとその家族の支援のために、学校内外での手順を確立し、他機関と連携していることを示すことができる。</p>	<p>○必須書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤングケアラー支援のために学校が外部機関とどのように協力してきているかを示す書類。例えば、校内サポートや、外部サービス（早期段階支援アセスメント、子ども・若者メンタルヘルスサービス及び医療福祉ケアサービス）への紹介状（匿名にする）とその結果を示す書類。 ・地域に特定外部機関が存在し、それらの機関との確立された連携を示す書類。 <p>○あると望ましい書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多機関連携の支援を受けたヤングケアラーからのフィードバック ・学校外の機関が家族を支援した際の親からのフィードバック 	<p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップ6 ツール7：学校とヤングケアラーサービスが効果的に連携するためのチェックリスト ・ステップ6 ツール8：ヤングケアラーサービスとの連携合意書の見本 ・ステップ6 ツール11：ヤングケアラーの家族が必要とするかもしれない支援のチェックリスト
<p>校内管理システムをモニターし生徒と関わることで、ヤングケアラーとその家族に対して追加の支援が必要かどうかを把握し、適切な支援が行われ、支援サービスへの紹介状が作成されている。</p>	<p>○必須書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤングケアラーの成績、出席状況及び心身の健康にマイナスの影響が出ていることに気付くための手順や方針が整っていて、その状況に対応するために行動が取られていることを示す書類 ・ヤングケアラーの成績や出席状況が一定の水準を満たしていない場合に、その状況を改善するための支援行動計画や紹介状などの書類 <p>○あると望ましい書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率や学業の支援に関する、ヤングケアラー、保護者、教職員による事例やコメントなどを示す書類 ・行動計画や紹介状により、ヤングケアラーの出席状況や成績に良い影響を及ぼしたことを示す書類 	<p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップ6 ヤングケアラーを見つけ、アセスメントを行い、支援するための仕組みを作る ・ステップ6 ツール11：ヤングケアラーの家族が必要とするかもしれない支援のチェックリスト

基準	提出書類	☑	段階的ガイドの参照項目
<p>学校は、地域や国のガイダンス及びヤングケアラーとその家族への支援を考慮しながら、適宜、全校計画の中にヤングケアラーを含んでいる。</p>	<p>○必須書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤングケアラーを包摂する全校計画を示す書類（例えば、「学校改善計画」など。） <p>○あると望ましい書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生徒特別計画」の中でヤングケアラーが考慮されていることを示す書類 	<p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>・ステップ3 ツール5：ヤングケアラーのための、対象を絞った生徒特別支援</p>

基準	提出書類	☑	段階的ガイドの参照項目
<p>ヤングケアラーを積極的に見つけるために、他機関の仕組みや手順を利用している。</p>	<p>○必須書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他校の仕組みを利用して見つけたヤングケアラーの匿名の報告書や紹介状。例えば、出席及び成績のモニタリング、見つけたヤングケアラーの支援計画の振り返り、校内の障害児調査を通してのきょうだいケアラーの発見など。 <p>○あると望ましい書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施してきた取り組みに関する教職員からのコメントや事例報告 	<p>☐</p> <p>☐</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップ5： 学校の主要文書においてヤングケアラーを記載する ・ステップ9： ヤングケアラーとその家族を見つけ、アセスメントを行い、支援する ・ステップ9 ツール5：教職員の観察用チェックリスト
<p>4 聴く (Listen)：ヤングケアラーの意見やニーズを収集して、学校のモニタリング手順に反映している。</p>	<p>○必須書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校のヤングケアラー支援（アンケート、面談、及び相談ミーティング等）が定期的に継続し、積極的に行われていることを示す書類。 <p>○あると望ましい書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤングケアラーが必要とする視点及び柔軟性を考慮した、手続きと計画を示す書類。例えば、支援提供手順を示す書類、個別の支援計画及び生徒特別支援計画の利用等。 	<p>☐</p> <p>☐</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップ2 ツール3：あなたの学校のヤングケアラー支援に対するヤングケアラーの意見の収集方法 ・ステップ6 ツール4：ヤングケアラーフォーラムの開催方法

基準	提出書類	☑	段階的ガイドの参照項目
<p>5 支援する (Support) : 学校には、ヤングケアラーのケア役割を防いだり軽減したりするために、病気や障害のある親、保護者、きょうだいを支援するための、家族丸ごと支援を行ったり繋いだりする仕組みがある。</p>	<p>○必須書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族や障害のあるきょうだいと地方自治体の支援へと繋がる際の、紹介手続きが理解されていることを示す書類 ・ プラスの影響を及ぼした地方自治体支援への紹介事例や、その他の家族丸ごと支援に関する親及び教職員からの事例報告 <p>○あると望ましい書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校と連携しているソーシャルワーカーがヤングケアラーの課題を理解していて、ケアの受け手を医療や社会ケアサービスを通して、追加の支援へと繋ぐための情報を持っている 	<p><input checked="" type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>・ ステップ6 ヤングケアラーを見つけ、アセスメントを行い、支援するための仕組みを作る</p> <p>・ ステップ6 ツール 11: ヤングケアラーの家族が必要とするかもしれない支援のチェックリスト</p>
<p>教職員が、長期にわたる病気や障害のある親、保護者、きょうだい等と連絡をとることができている。やりとりの方法には、視覚、聴覚及びコミュニケーションの障害や通訳が必要な親への支援が含まれている。</p>	<p>○必須書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者差別防止法 (DDA) の実施計画と機会均等政策の実践及び親と連絡が取れていることを示す書類 ・ 親とのコミュニケーションの壁 (例えば、視覚、聴覚及びコミュニケーション障害によって生じる壁) を乗り越えるための方針と手順を示す書類 <p>○あると望ましい書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施されているやり取りや支援に関する、親とヤングケアラーのコメントと事例報告 	<p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>・ ステップ6 ツール 11: ヤングケアラーの家族が必要とするかもしれない支援のチェックリスト</p>